



レスリングで日本一達成! 目指すは世界挑戦

伊藤朱里さん(18歳)塩津町



第64回全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会(山形県上山市)フリースタイル74kg級(8月2日決勝)で優勝したのが伊藤朱里さんです。出石少年柔道クラブと並行して、小学2年生から、網野高校にあるレスリング教室に通い始めた伊藤さん。豊岡南中学校在学中は、放課後に毎日、網野に通い、高校生を相手に腕を磨きました。

月からは主将も任され、チームをまとめてきました。本大会に臨むに当たり心掛けたのは「自分から攻める」と。タックルの練習に力を入れてきました。決勝は4月にあった大会で敗れた相手。「練習してきたことを信じて挑むだけ。リベンジしたい」と闘志を燃やしました。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲...んっ！石垣に忍者？

出石城跡稻荷台の石垣清掃

但馬國出石観光協会と出石分署の協働

秋晴れとなった10月27日、出石城跡稻荷神社の北側で、但馬國出石観光協会と豊岡消防署出石分署が石垣の清掃作業を行いました。

この作業は、出石分署の高所作業訓練も兼ね、隊員が高さ約12mの石垣をスリ、スリとロープを使って降下。「半結びよし!! 作業地点よし!! 作業開始します」などの大きな声が、朝の澄み切った空気の中に何度も響き渡りました。のこぎりなどを使用して落とされた草木は、観光協会の皆さんが回収し、作業は午前で完了。観光協会理事長の川見善明さんは、出石の本格的な秋の行楽シーズンを迎えるに当たり「きれいな状態でお客様をお迎えできそうです」とあいさつしました。

加陽湿地まつり

湿地を生かしたにぎわいの拠点づくり

11月5日、出石川五条大橋周辺の加陽湿地で、第4回加陽湿地まつり(主催・加陽地区)が開催され、多くの市民が湿地の魅力を楽しみました。

加陽水辺公園が完成して初となる開催。湿地や水辺の活用を通したにぎわいの拠点になるようにと、同まつりでは初となるSUPボートやグランピングの体験などが行われました。また、生きもの調査では、ウェーダー(胴長)を着て湿地に入り、魚類などの観察を行った他、野鳥観察会では、ミサゴやヒドリガモなどを見ることができました。

SUPボートを体験した増田智春さん(下加陽)は「湿地と川の合流地点は、初めて見る景色だった」と水上からの景色を楽しんでいました。



▲バランスを取りながらのSUPボート体験



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

